

# 平成２９年度宮城県在宅医療実態調査結果

## 調査の概要

### 【目的】

県内の在宅医療の実施状況などの実態を把握し、各地域における今後の施策推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、下記の医療機関を対象に調査。

- 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院（機能強化型）
- 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院（通常型）
- 在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料届出医療機関（在支診・在支病以外）
- その他（平成２８年度宮城県医療機能調査において、「在宅医療を実施している」と回答した医療機関）

### 【回収率等】

- 対象医療機関（送付先） ３５９ 件
- 回答数 ２７２ 件
- 有効回答数 ２７１ 件      回収率（有効回答率） ７５．５ ％

## 調査結果の概要

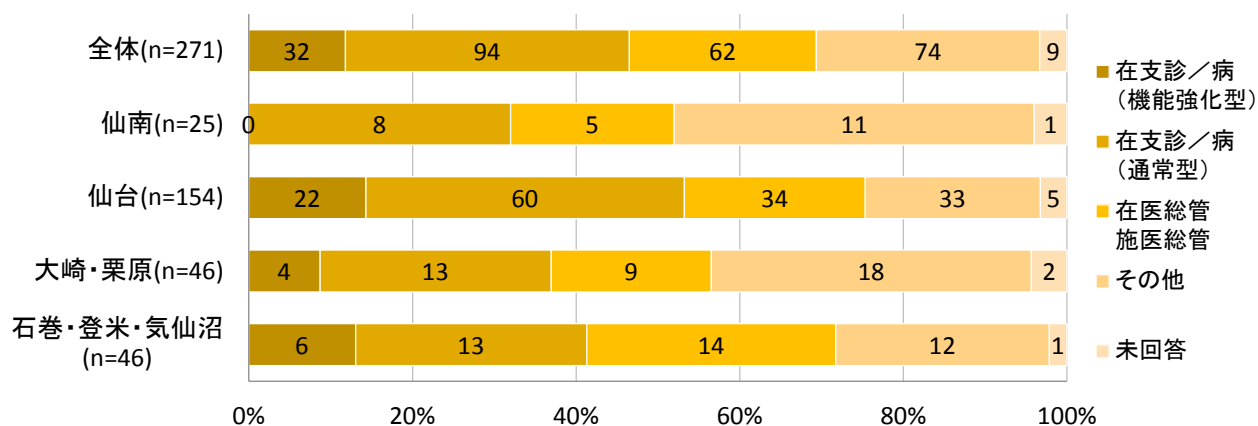
### １．在宅医療の取組状況

#### （１）在宅医療の実施体制（n=271）

- ・在宅医療を実施する（したことがある）医療機関のうち 126 施設（46.5%）が在支診／病

（単位：施設）

		在支診／病		在医総管 施医総管	その他	未回答	計
		機能強化型	通常型				
二次医療圏	仙南	0	8	5	11	1	25
	仙台	22	60	34	33	5	154
	大崎・栗原	4	13	9	18	2	46
	石巻・登米・気仙沼	6	13	14	12	1	46
計		32	94	62	74	9	271

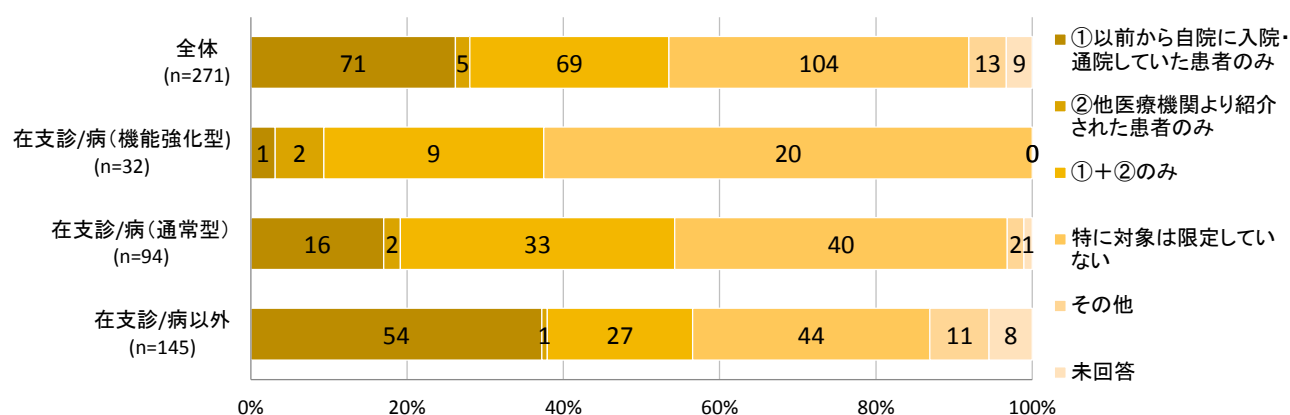


## (2) 主な対象患者 (n=271)

- ・「特に対象は限定していない（自分で調べてきた患者やケアマネ等から依頼のあった患者を含む）」が 104 施設 (38.4%) で最も多い
- ・「対象を限定している」は在支診/病が 63 施設 (50.0%), 在支診/病以外が 82 施設 (56.6%)

(単位：施設)

		対象を限定している			特に対象は 限定してい ない	その他	未回答	計
		①以前から自 院に入院・通 院していた患 者のみ	②他医療機関 より紹介され た患者のみ	①+②のみ				
二次医療圏	仙南	5	0	4	13	1	2	25
	仙台	43	4	32	61	10	4	154
	大崎	12	1	17	12	2	2	46
	石巻・登米・気仙沼	11	0	16	18	0	1	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	1	2	9	20	0	0	32
	在支診/病（通常型）	16	2	33	40	2	1	94
	在支診/病以外	54	1	27	44	11	8	145
計		71	5	69	104	13	9	271



(3) これまでに訪問対応したことのある市区町村 複数回答可

・回答のあった全医療機関が、所在地の二次医療圏で訪問対応する一方、他二次医療圏への訪問は少ない

仙南医療圏                      4／24 施設 (16.7%)      仙台医療圏                      12／154 施設 (7.8%)  
大崎・栗原医療圏      4／45 施設 (8.9%)      石巻・登米・気仙沼医療圏      5／46 施設 (10.9%)

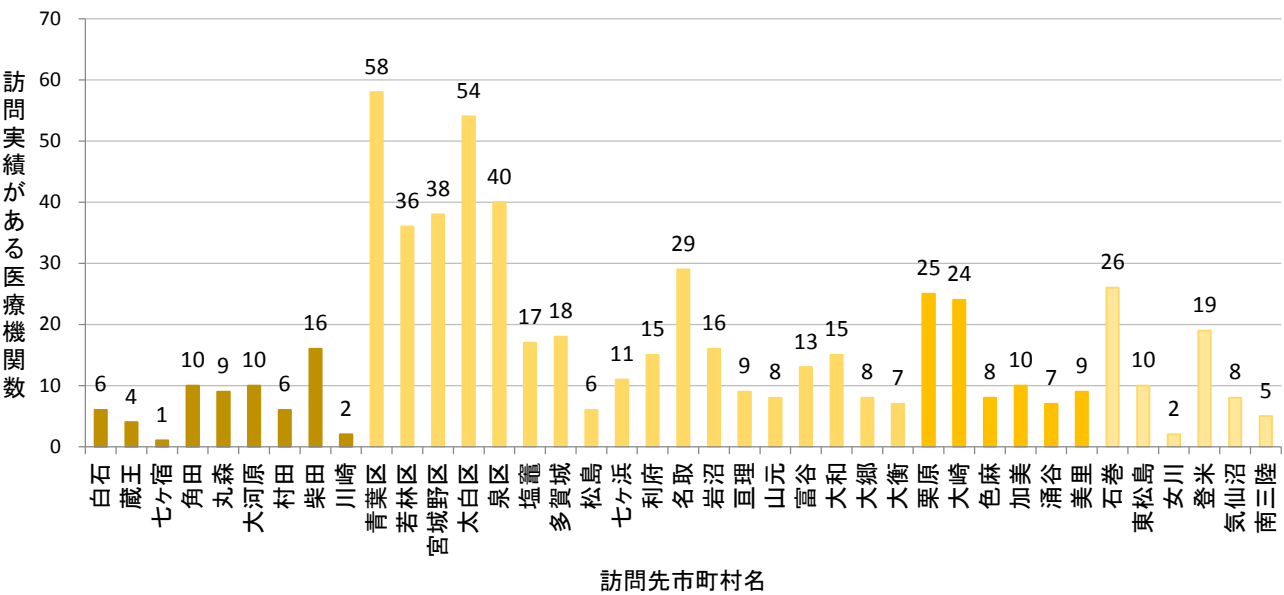
※石巻・登米・気仙沼医療圏の2施設は重複

●二次医療圏別

(単位：施設)

		回答のあった 医療機関数	訪問先					計
			仙南	仙台	うち 仙台市	大崎・ 栗原	石巻・ 登米・ 気仙沼	
所在地	仙南	24	24	4	0	0	0	28
	仙台	154	4	154	119	4	4	166
	うち仙台市	106	1	106	106	1	1	109
	大崎・栗原	45	0	1	0	45	3	49
	石巻・登米・気仙沼	46	0	2	0	5	46	53
	計	269	28	161	119	54	53	296

●訪問先別

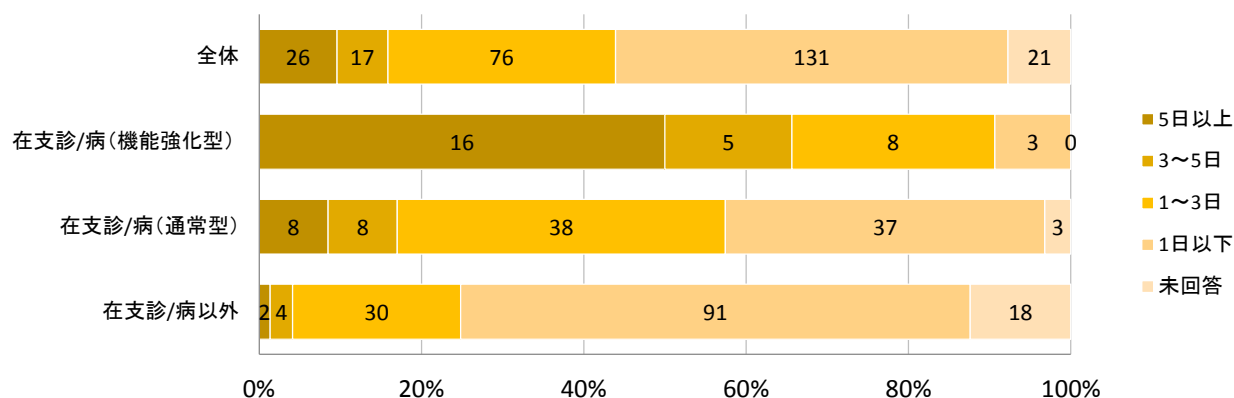


(4) 訪問診療を行っている一週間あたりの日数 (n=271) ※半日は0.5日

- ・「1日以下」が131施設(48.3%)で最も多い
- ・在支診/病(機能強化型):「5日以上」が16施設(50.0%)
- ・在支診/病(通常型):「1～3日以上」が38施設(40.4%),「1日以下」が37施設(39.4%)
- ・在支診/病以外:「1日以下」が91施設(62.8%)

(単位:施設)

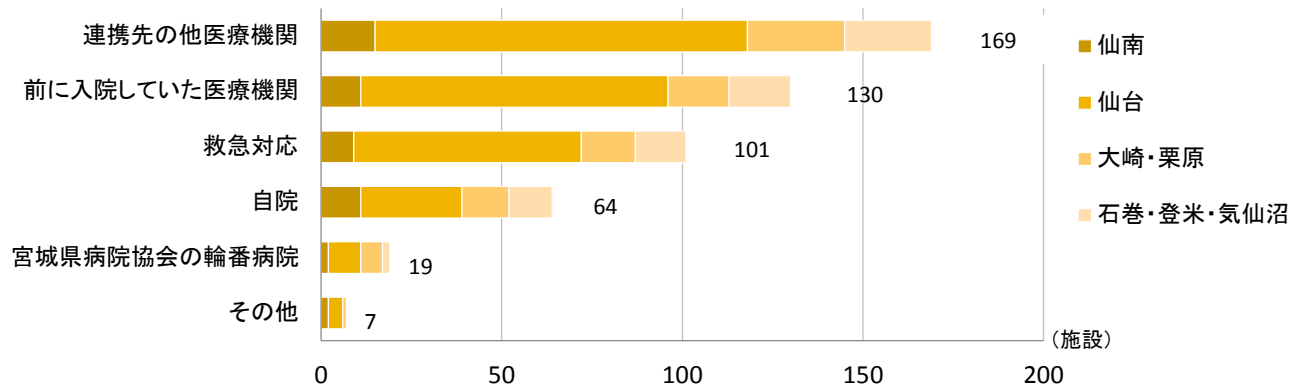
		5日以上 訪問に専念し ほぼ毎日訪問	3～5日 訪問が主で 特定日に外来	1～3日 外来が主で 特定日に訪問	1日以下 訪問は特定日の 半日・昼休み等	未回答	計
二次医療圏	仙南	2	0	8	13	2	25
	仙台	16	13	36	75	14	154
	大崎・栗原	2	2	18	22	2	46
	石巻・登米・気仙沼	6	2	14	21	3	46
実施体制	在支診/病(機能強化型)	16	5	8	3	0	32
	在支診/病(通常型)	8	8	38	37	3	94
	在支診/病以外	2	4	30	91	18	145
計		26	17	76	131	21	271



(5) 緊急時の入院先 複数回答可 (n=256)

(単位：施設)

		回答の あった 医療機関数	入院先					
			自 院	連携先の 他医療機関	自院が在宅医療 を行う前に 患者が入院して いた医療機関	宮城県病院協会 在宅患者入院 受入体制事業 の輪番病院	救急対応	その他
二次医療圏	仙南	23	11	15	11	2	9	2
	仙台	147	28	103	85	9	63	4
	大崎・栗原	45	13	27	17	6	15	1
	石巻・登米・気仙沼	41	12	24	17	2	14	0
実施体制	在支診/病（機能強化型）	32	11	20	27	4	14	0
	在支診/病（通常型）	90	21	69	52	7	33	0
	在支診/病以外	134	32	80	51	8	54	7
計		256	64	169	130	19	101	7



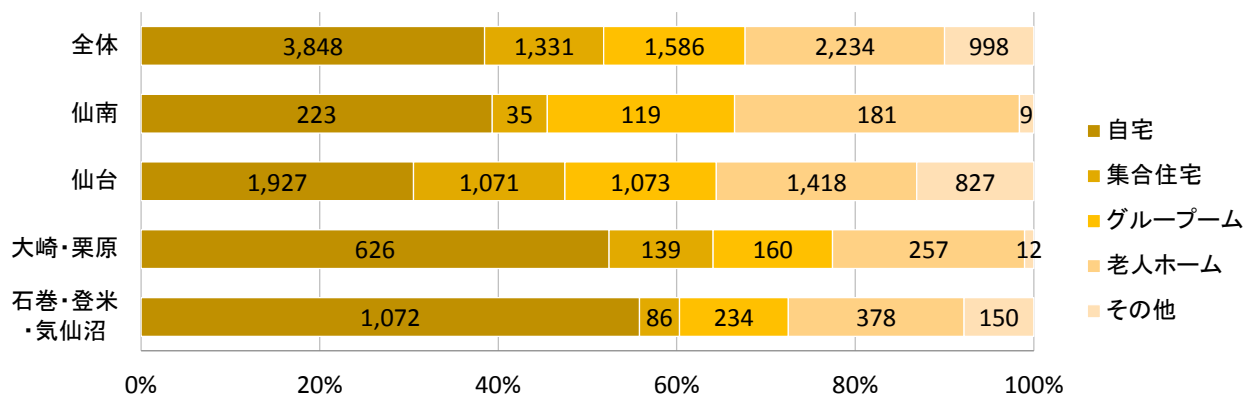
## 2. 在宅医療の患者数

### (1) 1ヶ月間（平成29年10月）の訪問診療における訪問先別の患者実人数

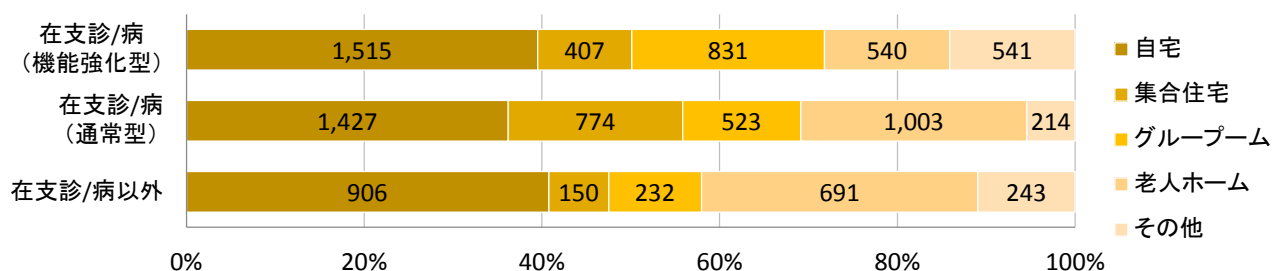
- ・「患者1人以上」は232施設（85.6%）、平均患者数（実人数）は43.1人
- ・訪問先として、大崎・栗原及び石巻・登米・気仙沼は広義の自宅（自宅・集合住宅・グループホーム）が、仙南はグループホームや老人ホームの割合が他医療圏に比べて高い
- ・小児（15歳未満）への訪問実績がある医療機関は4施設（うち仙台市内が2施設）で、全体の1.7%
- ・小児（15歳未満）患者数は22人で、全患者数の0.2%

		在宅患者の有無 (単位：医療機関)		患者実人数（単位：人）							1 医療 機関あ たりの 平均 患者数
		患者0人  未回答 含む	患者1人 以上		うち 15歳 未満	訪問先別					
						自宅 (一戸建て)	集合住宅 ( アパート マンション サ高住 )	グループ ホーム	老人 ホーム	その他  訪問先 未回答 を含む	
二次医療圏	仙南	3	22	567	0	223	35	119	181	9	25.8
	仙台	27	127	6,316	16	1,927	1,071	1,073	1,418	827	49.7
	大崎・栗原	2	44	1,194	2	626	139	160	257	12	27.1
	石巻・登米・気仙沼	7	39	1,920	4	1,072	86	234	378	150	49.2
実施体制	在支診/病（機能強化型）	0	32	3,834	1	1,515	407	831	540	541	119.8
	在支診/病（通常型）	6	88	3,941	17	1,427	774	523	1,003	214	44.8
	在支診/病以外	33	112	2,222	4	906	150	232	691	243	19.8
計		39	232	9,997	22	3,848	1,331	1,586	2,234	998	43.1

#### ●二次医療圏別



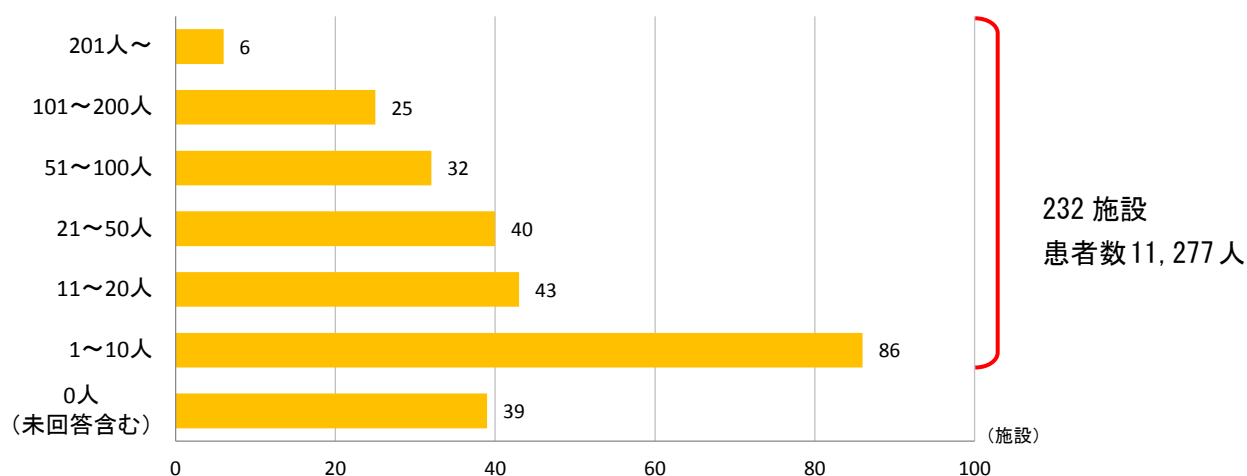
#### ●実施体制別



(2) 訪問診療を行える最大患者数（1ヶ月間あたりの実人数）

		診療可能な 患者数が0人 又は未回答の 医療機関数 (単位：施設)	訪問診療が可能な患者数が1人以上			1医療機関 あたりの 平均訪問 可能患者数 (単位：人)
			医療機関数 (単位：施設)	最大患者 実人数 (単位：人)	うち 15歳未満	
二次 医療 圏	仙南	3	22	812	1	36.9
	仙台	25	129	7,170	92	55.6
	大崎・栗原	5	41	1,367	12	33.3
	石巻・登米・気仙沼	6	40	1,928	13	48.2
実 施 体 制	在支診/病（機能強化型）	3	29	4,165	58	143.6
	在支診/病（通常型）	7	87	4,619	58	53.1
	在支診/病以外	29	116	2,493	2	21.5
計		39	232	11,277	118	48.6

●患者数別医療機関数



## ●訪問診療の増加可能な患者数

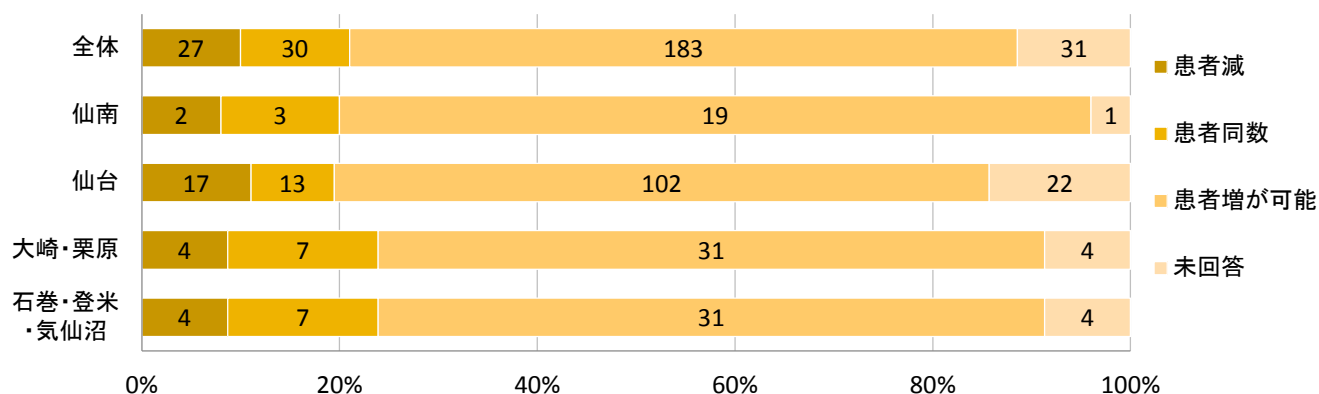
### ▶算出方法

「1ヵ月間に訪問診療を行える最大患者数(2)」と「1ヵ月間の患者実人数(1)」の差が

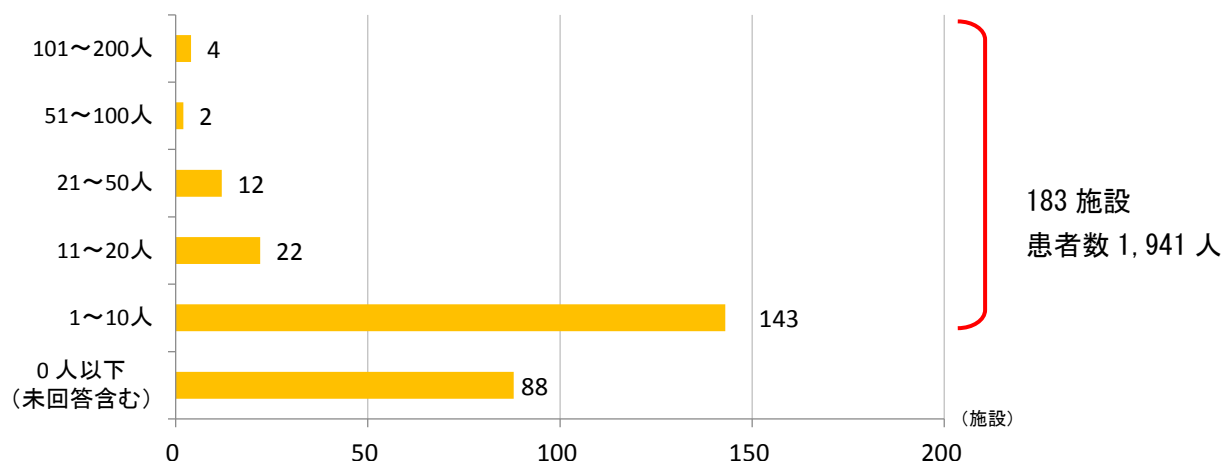
マイナス：患者減，ゼロ：患者同数，プラス：患者増が可能 として集計

・患者1人以上の増加が可能な医療機関は183施設(67.5%)

		H29.10の患者数と比較して						未回答の 医療機関数 (単位：施設)
		患者減	患者同数	1人以上の患者増が可能			1医療機関あたりの平均増加 可能患者数 (単位：人)	
		医療機関数 (単位：施設)	医療機関数 (単位：施設)	医療機関数 (単位：施設)	増加可能 患者数 (単位：人)	うち 15歳未満		
二次医療圏	仙南	2	3	19	248	1	13.1	1
	仙台	17	13	102	1,268	76	12.4	22
	大崎・栗原	4	7	31	217	10	7.0	4
	石巻・登米・気仙沼	4	7	31	208	13	6.7	4
実施体制	在支診/病（機能強化型）	2	2	25	577	57	23.1	3
	在支診/病（通常型）	9	6	72	891	41	12.4	7
	在支診/病以外	16	22	86	473	2	5.5	21
計		27	30	183	1,941	100	10.6	31



## ●増加可能な患者数別医療機関数

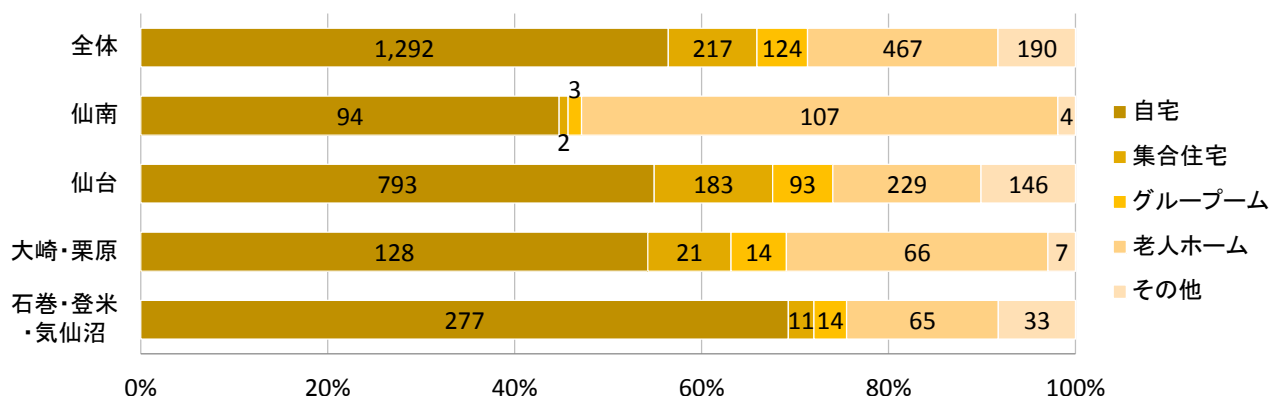




(3) 1年間（平成28年7月～平成29年6月）の在宅での看取りの実人数

- ・仙南医療圏は老人ホームで看取った患者が51.0%で、他医療圏より多い
- ・石巻・登米・気仙沼医療圏は、広義の自宅（自宅・集合住宅・グループホーム）で看取った患者が75.5%

		看取りの有無 (単位：医療機関)		患者実人数（単位：人）							1医療 機関あ たりの 平均 看取り 患者数
		患者0人  未回答 含む	患者1人 以上		うち 15歳 未満	訪問先別					
						自宅 (一戸建て)	集合住宅 〔 アパート マンション サ高住 〕	グループ ホーム	老人 ホーム	その他  訪問先 未回答 を含む	
二次 医療 圏	仙南	11	14	210	1	94	2	3	107	4	15.0
	仙台	60	94	1,444	1	793	183	93	229	146	15.4
	大崎・栗原	19	27	236	0	128	21	14	66	7	8.7
	石巻・登米・気仙沼	17	29	400	0	277	11	14	65	33	13.8
実施 体制	在支診/病（機能強化型）	0	32	1,229	0	798	124	67	114	126	38.4
	在支診/病（通常型）	21	73	770	2	390	85	50	215	30	10.5
	在支診/病以外	86	59	291	0	104	8	7	138	34	4.9
計		107	164	2,290	2	1,292	217	124	467	190	14.0



● 1年間の看取り患者数が「0人」の医療機関における看取りの実施状況 (n=107)

(単位：施設)

		実施して いる	実施したことは ないが、対応 できる	過去に実施し ていたが、現 時点では実施 していない	実施して いない	未回答
二次 医療 圏	仙南	4	2	2	2	1
	仙台	16	2	15	18	9
	大崎・栗原	5	5	2	5	2
	石巻・登米・気仙沼	3	0	2	8	4
実施 体制	在支診/病（機能強化型）	0	0	0	0	0
	在支診/病（通常型）	8	2	6	2	3
	在支診/病以外	20	7	15	31	13
計		28	9	21	33	16

● 1年間の看取り患者数が「1人以上」の医療機関における看取りの対応方法 (n=164) 複数回答可

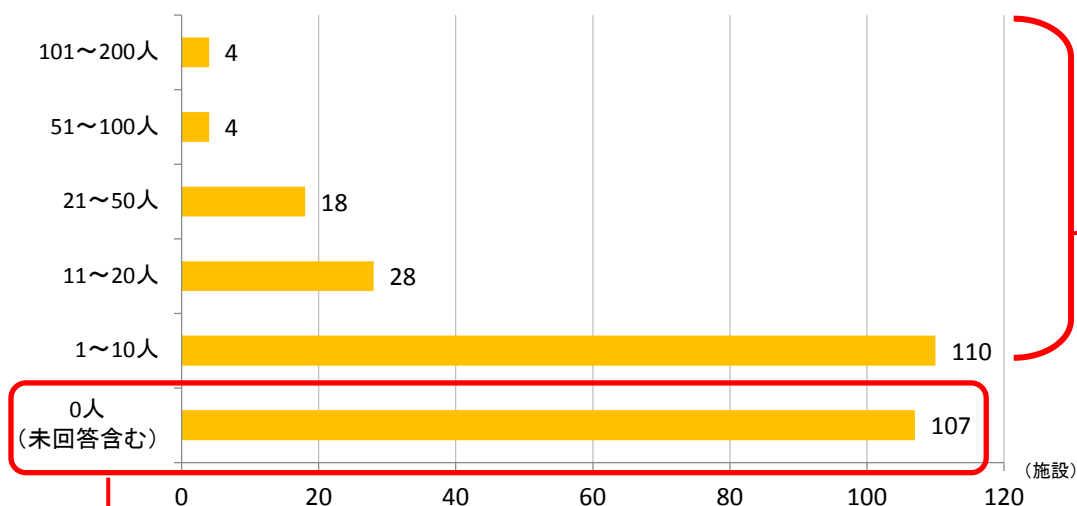
(単位：施設)

		自院の医師が 出来る限り24 時間対応する	夜間は訪問看護師 が訪問し、医師は 翌朝訪問する	その他
二次医療圏	仙南	10	1	2
	仙台	82	16	2
	大崎・栗原	18	9	3
	石巻・登米・気仙沼	25	5	2
実施体制	在支診/病（機能強化型）	30	5	0
	在支診/病（通常型）	62	10	5
	在支診/病以外	43	16	4
計		135	31	9

【その他】

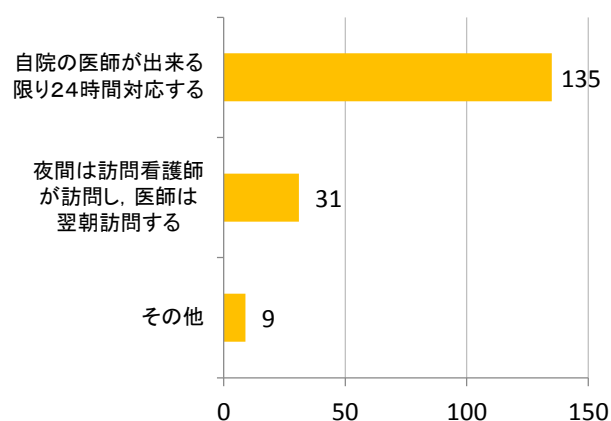
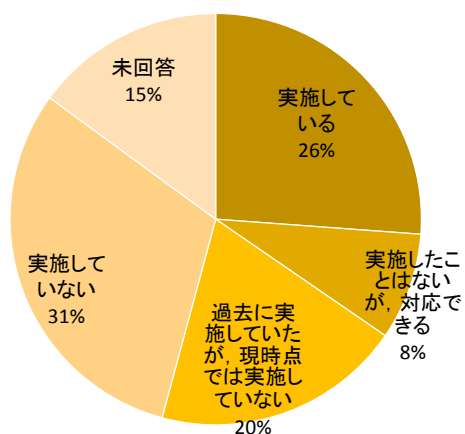
- ・平日のみ、自院の医師が訪問している
- ・準夜帯は自院の医師、深夜帯は翌朝訪問している など

● 患者数別の医療機関数



1年間の看取り患者数が0人の医療機関 (n=107)

1年間の看取りが1人以上の医療機関 (n=164)



#### (4) 在宅医療患者数のここ数年の動向

- ・施設入所の増や介護力低下に伴い、自宅は減少傾向、高齢者住宅・老人ホームは増加傾向
- ・自宅は、新患と亡くなる方が同数程度のため「変わらない」が約半数

#### ●自宅（一戸建て、アパート、マンション）(n=271)

(単位：施設)

		年々増加 している	年々減少 している	あまり変 わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	8	11	1	2	25
	仙台	24	31	65	14	20	154
	大崎・栗原	8	8	20	7	3	46
	石巻・登米・気仙沼	10	10	19	2	5	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	6	15	0	3	32
	在支診/病（通常型）	16	17	48	6	7	94
	在支診/病以外	21	34	52	18	20	145
計		45	57	115	24	30	271

#### ●高齢者住宅（サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム）(n=271)

(単位：施設)

		年々増加 している	年々減少 している	あまり変 わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	0	9	9	4	25
	仙台	43	5	45	26	35	154
	大崎・栗原	14	0	11	13	8	46
	石巻・登米・気仙沼	10	2	12	8	14	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	15	0	13	2	2	32
	在支診/病（通常型）	27	2	30	18	17	94
	在支診/病以外	28	5	34	36	42	145
計		70	7	77	56	61	271

#### ●老人ホーム（養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム）(n=271)

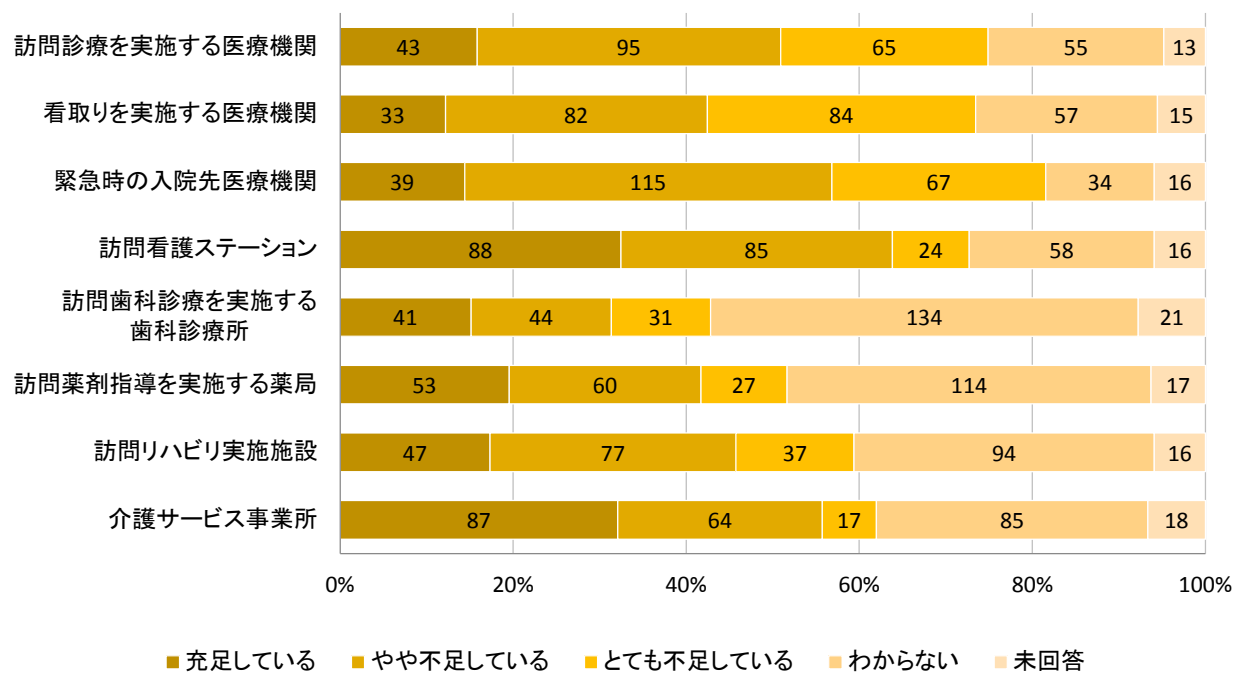
(単位：施設)

		年々増加 している	年々減少 している	あまり変 わらない	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	0	6	9	4	25
	仙台	38	5	42	35	34	154
	大崎・栗原	15	0	10	11	10	46
	石巻・登米・気仙沼	8	1	15	6	16	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	15	1	12	2	2	32
	在支診/病（通常型）	26	3	26	21	18	94
	在支診/病以外	26	2	35	38	44	145
計		67	6	73	61	64	271

### 3. 在宅医療に対する考え

#### (1) 訪問診療を行っている地域での関係機関の充足状況 (n=271)

- ・医療機関（訪問診療・看取り・入院先）は「やや不足している」「とても不足している」が多い
- ・歯科診療所や薬局は「わからない」が多い

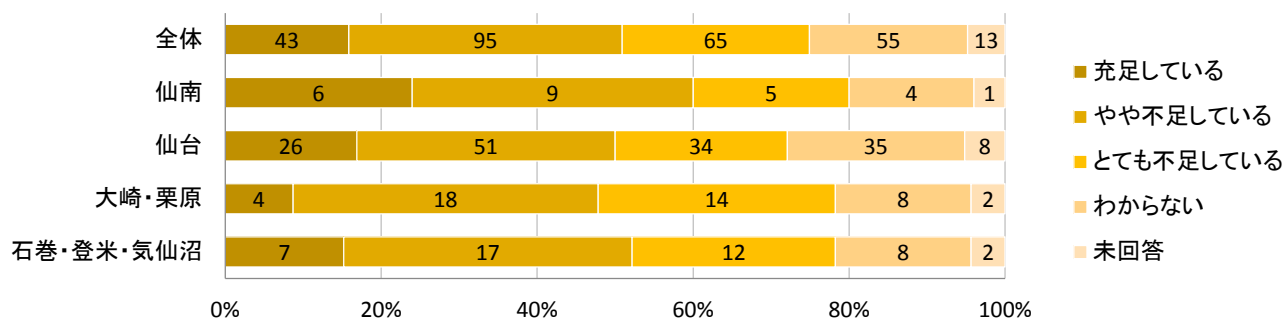


●訪問診療を実施する医療機関

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	9	5	4	1	25
	仙台	26	51	34	35	8	154
	大崎・栗原	4	18	14	8	2	46
	石巻・登米・気仙沼	7	17	12	8	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	3	21	5	3	0	32
	在支診/病（通常型）	25	28	14	24	3	94
	在支診/病以外	15	46	46	28	10	145
計		43	95	65	55	13	271

15.9% 35.1% 24.0% 20.3% 4.7%

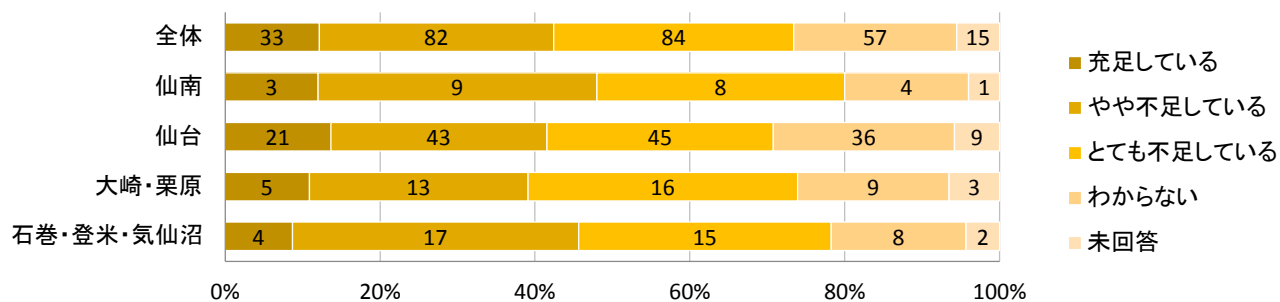


●看取りを実施する医療機関

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	9	8	4	1	25
	仙台	21	43	45	36	9	154
	大崎・栗原	5	13	16	9	3	46
	石巻・登米・気仙沼	4	17	15	8	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	2	19	8	3	0	32
	在支診/病（通常型）	20	21	28	22	3	94
	在支診/病以外	11	42	48	32	12	145
計		33	82	84	57	15	271

12.2% 30.3% 31.0% 21.0% 5.5%

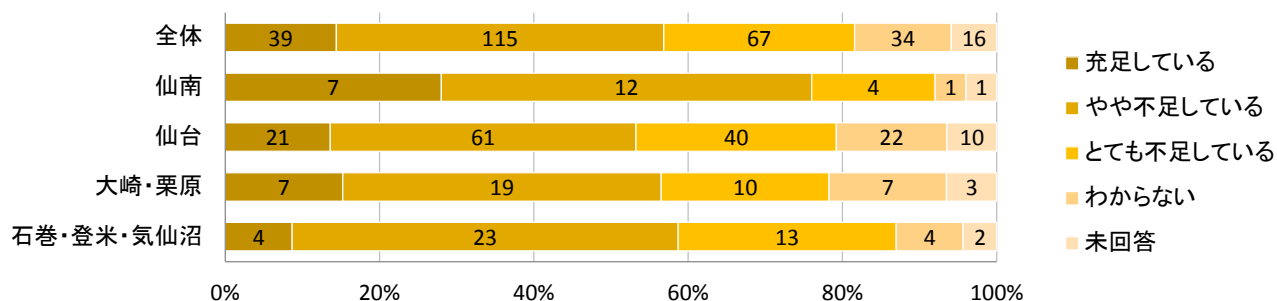


●緊急時の入院先医療機関（n=271）

（単位：施設）

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	12	4	1	1	25
	仙台	21	61	40	22	10	154
	大崎・栗原	7	19	10	7	3	46
	石巻・登米・気仙沼	4	23	13	4	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	14	8	2	0	32
	在支診/病（通常型）	16	43	23	9	3	94
	在支診/病以外	15	58	36	23	13	145
計		39	115	67	34	16	271

14.4% 42.5% 24.7% 12.5% 5.9%

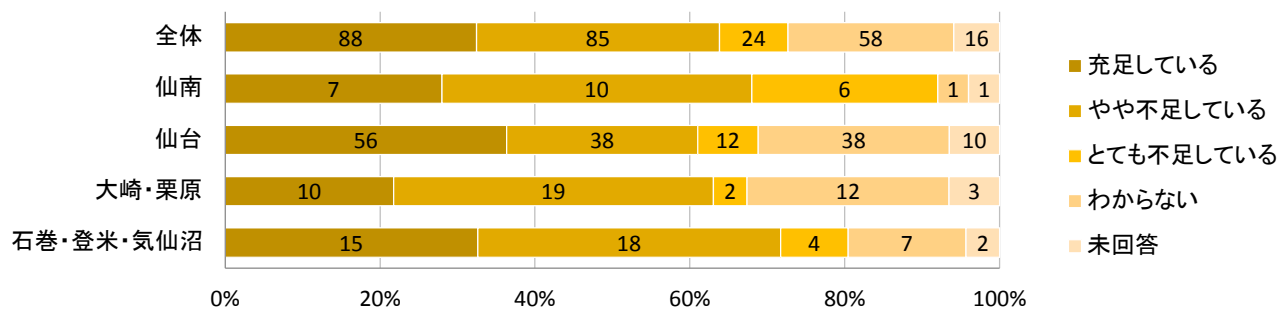


●訪問看護ステーション

（単位：施設）

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	10	6	1	1	25
	仙台	56	38	12	38	10	154
	大崎・栗原	10	19	2	12	3	46
	石巻・登米・気仙沼	15	18	4	7	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	12	12	5	3	0	32
	在支診/病（通常型）	36	28	5	21	4	94
	在支診/病以外	40	45	14	34	12	145
計		88	85	24	58	16	271

32.5% 31.4% 8.8% 21.4% 5.9%

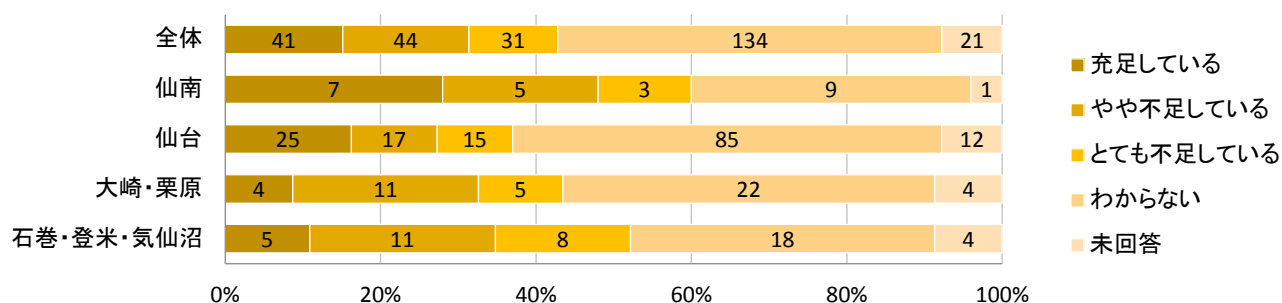


●訪問歯科診療を実施する歯科診療所

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	7	5	3	9	1	25
	仙台	25	17	15	85	12	154
	大崎・栗原	4	11	5	22	4	46
	石巻・登米・気仙沼	5	11	8	18	4	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	9	6	9	0	32
	在支診/病（通常型）	21	15	10	43	5	94
	在支診/病以外	12	20	15	82	16	145
計		41	44	31	134	21	271

15.1% 16.2% 11.5% 49.5% 7.7%

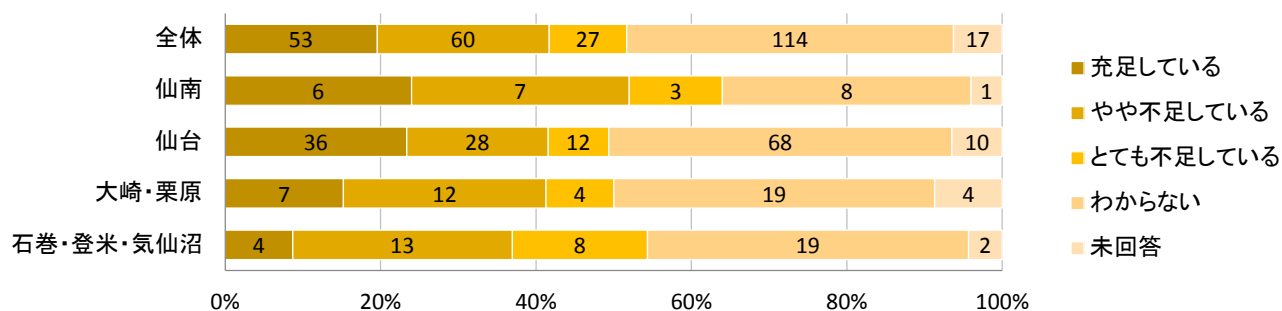


●訪問薬剤指導を実施する薬局

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	6	7	3	8	1	25
	仙台	36	28	12	68	10	154
	大崎・栗原	7	12	4	19	4	46
	石巻・登米・気仙沼	4	13	8	19	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	15	4	5	0	32
	在支診/病（通常型）	27	17	9	38	3	94
	在支診/病以外	18	28	14	71	14	145
計		53	60	27	114	17	271

19.5% 22.1% 10.0% 42.1% 6.3%

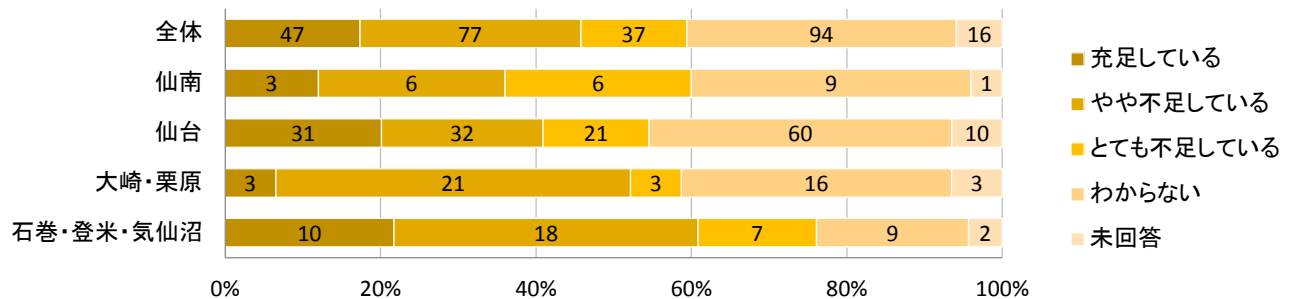


# ●訪問リハビリ実施施設

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	3	6	6	9	1	25
	仙台	31	32	21	60	10	154
	大崎・栗原	3	21	3	16	3	46
	石巻・登米・気仙沼	10	18	7	9	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	8	9	5	10	0	32
	在支診/病（通常型）	22	21	14	34	3	94
	在支診/病以外	17	47	18	50	13	145
計		47	77	37	94	16	271

17.3% 28.4% 13.7% 34.7% 5.9%

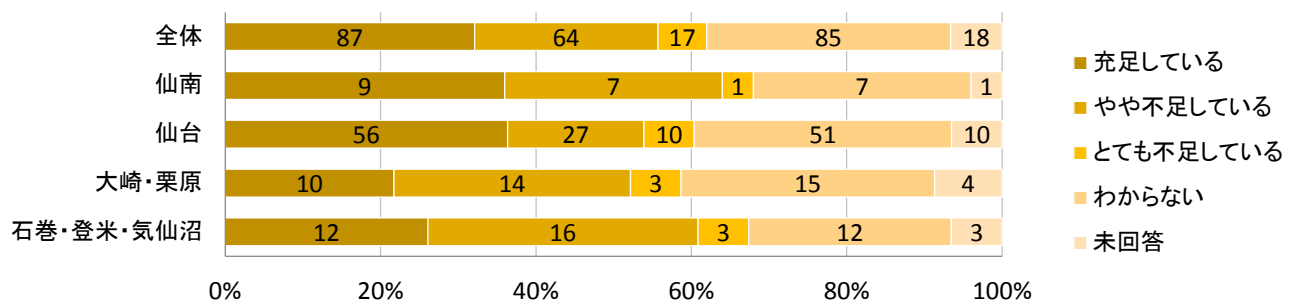


# ●介護サービス事業所

(単位：施設)

		充足している	やや不足している	とても不足している	わからない	未回答	計
二次医療圏	仙南	9	7	1	7	1	25
	仙台	56	27	10	51	10	154
	大崎・栗原	10	14	3	15	4	46
	石巻・登米・気仙沼	12	16	3	12	3	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	13	11	3	5	0	32
	在支診/病（通常型）	37	19	2	33	3	94
	在支診/病以外	37	34	12	47	15	145
計		87	64	17	85	18	271

32.1% 23.6% 6.3% 31.4% 6.6%



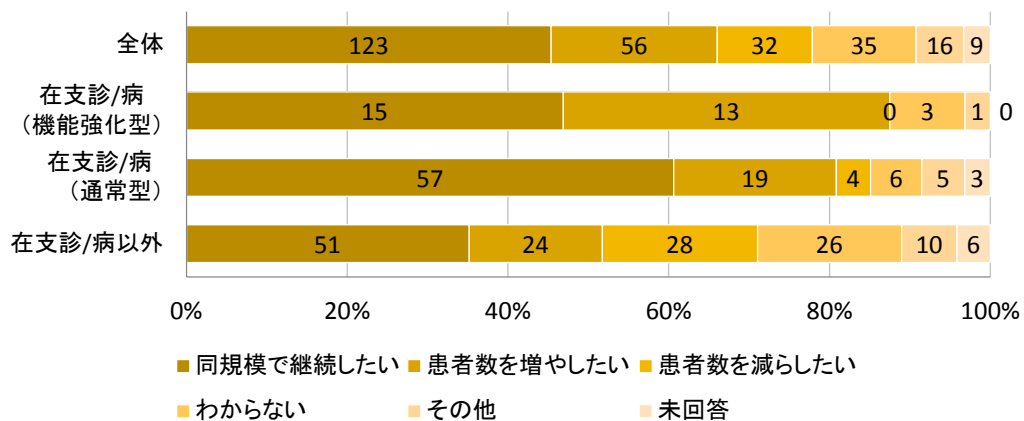


(2) 今後（５～６年先）の在宅医療の取組予定（n=271）

・「今後も現時点と同規模で在宅医療を継続したい」が 123 施設（45.4%）で最も多い

（単位：施設）

		今後も現時点 と同規模で在 宅医療を継続 したい	今後は現時点 よりも患者数 を増やしたい	今後は現時点 よりも患者数 を減らしたい	わから ない	その他	未回答	計
二次医療圏	仙南	9	7	4	3	1	1	25
	仙台	71	29	19	20	11	4	154
	大崎・栗原	22	10	2	6	4	2	46
	石巻・登米・気仙沼	21	10	7	6	0	2	46
実施体制	在支診/病（機能強化型）	15	13	0	3	1	0	32
	在支診/病（通常型）	57	19	4	6	5	3	94
	在支診/病以外	51	24	28	26	10	6	145
計		123	56	32	35	16	9	271



【その他】

- ・医師を補充できれば増加したい
- ・複数名医師での対応が可能なら同規模で継続したい
- ・体力的にも収入に見合わない
- ・診療形態変更予定
- ・数年後閉院予定
- ・担当医師が高齢など

(3) 今後(5～6年先)在宅医療を推進する上で必要だと思われる取組

下記設問の上位3つまで

設問

- 1 在宅医療に取組医療機関間での主治医・副主治医制の導入
- 2 在宅医療に特化した診療所の設置
- 3 在宅医療に取り組む医療機関間での患者の容態に応じた役割分担
- 4 病院の医師による訪問診療等の実施
- 5 公立・公的病院の在宅医療への関与強化
- 6 緊急時の入院先医療機関の確保
- 7 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応
- 8 訪問看護ステーションの増加・機能強化
- 9 訪問歯科診療を実施する歯科診療所の増加
- 10 訪問薬剤指導を実施する薬局の増加
- 11 訪問リハビリテーションを実施する施設の増加
- 12 介護サービス事業所の活用
- 13 在宅医療の医療技術上のノウハウを学べる研修
- 14 在宅医療の運営や経営上のノウハウを学べる研修
- 15 住民に向けた在宅利用の普及啓発
- 16 財政面(設備整備への助成等)に対する支援
- 17 その他

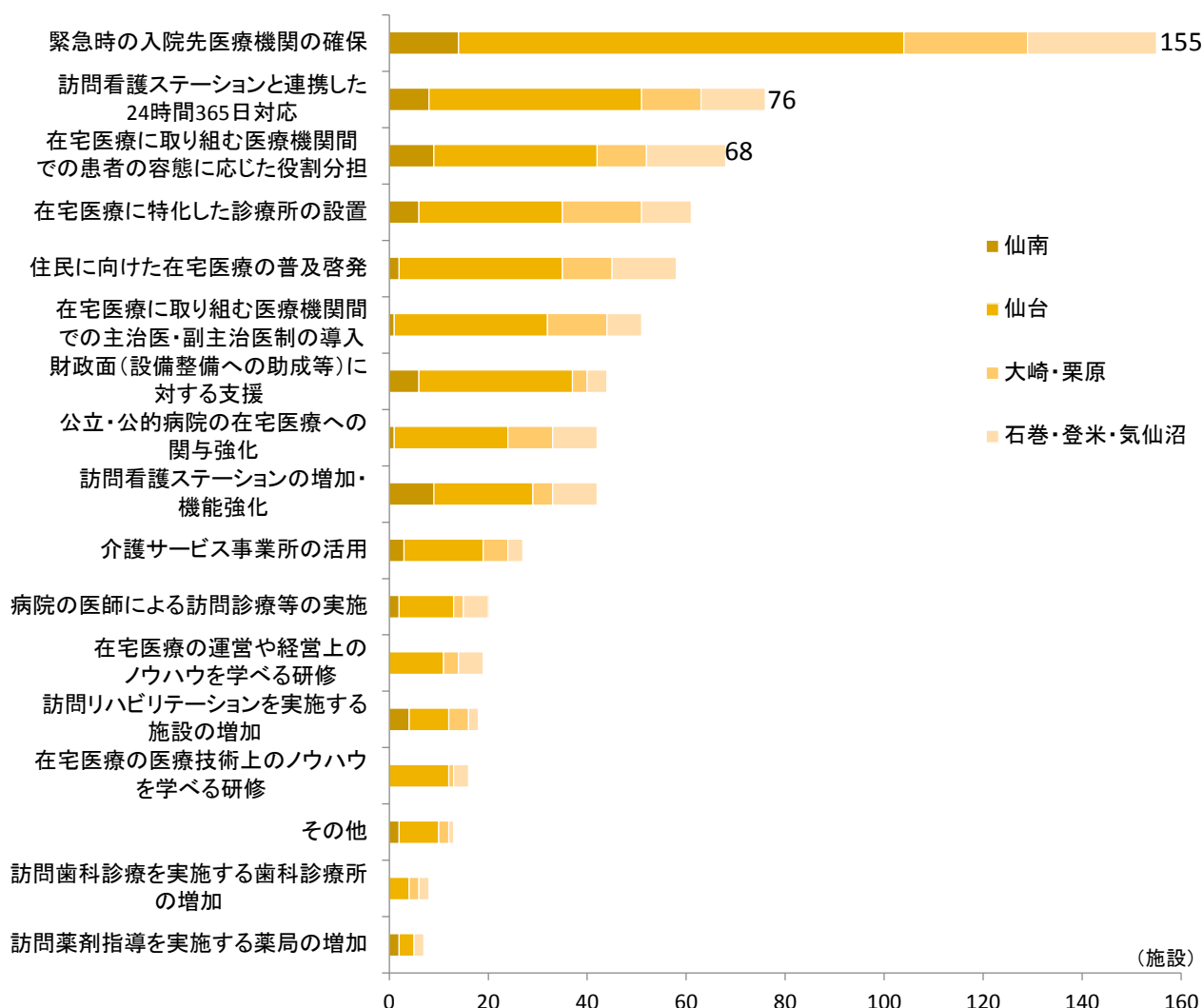
		1 主治医・副 主治医制	2 在宅に特化 した診療所	3 患者容態別 の役割分担	4 病院医師の 訪問診療	5 公立・公的 病院の関与	6 緊急時の入 院先の確保	7 24h対応(訪 問ST連携)	8 訪問STの増 加・強化	9 訪問歯科診 療所の増
二次医療圏	仙南	1	6	9	2	1	14	8	9	0
	仙台	31	29	33	11	23	90	43	20	4
	大崎・栗原	12	16	10	2	9	25	12	4	2
	石巻・登米・気仙沼	7	10	16	5	9	26	13	9	2
実施体制	在支診/病(機能強化型)	8	3	7	0	3	17	9	7	1
	在支診/病(通常型)	17	14	21	9	18	60	28	13	1
	在支診/病以外	26	44	40	11	21	78	39	22	6
計		51	61	68	20	42	155	76	42	8

		10 訪問薬剤指 導薬局の増	11 訪問リハ施 設の増	12 介護サービ スの活用	13 在宅医療技 術研修	14 運営・経営 研修	15 住民に向け 普及啓発	16 財政面の支 援	17 その他
二次医療圏	仙南	2	4	3	0	0	2	6	2
	仙台	3	8	16	12	11	33	31	8
	大崎・栗原	0	4	5	1	3	10	3	2
	石巻・登米・気仙沼	2	2	3	3	5	13	4	1
実施体制	在支診/病(機能強化型)	2	0	2	2	4	14	7	5
	在支診/病(通常型)	2	4	14	8	5	23	21	2
	在支診/病以外	3	14	11	6	10	21	16	6
計		7	18	27	16	19	58	44	13

・その他(主な回答)

負担軽減措置(医療機関のグループ制や当番医制の導入) 在支診/病以外の医療機関に対する評価  
 関係機関の連携強化 レスパイト先の確保 適切に対応するためのチェックシステム導入  
 患者や地域住民への情報公開 介護施設での看取り対応 など

・「緊急時の入院先医療機関の確保」が、全医療圏及び回答があったうち6割の医療機関において、最も必要だと思われる取組



### ●医療圏別の上位3つ

	1 位	2 位	3 位
仙南	・ <u>緊急時の入院先医療機関の確保</u>	・ 在宅医療に取り組む医療機関間での患者様態に応じた役割分担 ・ <u>訪問看護ステーションの増加・機能強化</u>	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応
仙台	・ <u>緊急時の入院先医療機関の確保</u>	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応	・ 在宅医療に取り組む医療機関間での患者様態に応じた役割分担 ・ <u>住民に向けた在宅医療の普及啓発</u>
大崎・栗原	・ <u>緊急時の入院先医療機関の確保</u>	・ <u>在宅医療に特化した診療所の設置</u>	・ <u>在宅医療に取り組む医療機関間での主治医・副主治医制の導入</u> ・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応
石巻・登米・気仙沼	・ <u>緊急時の入院先医療機関の確保</u>	・ 在宅医療に取り組む医療機関間での患者様態に応じた役割分担	・ 訪問看護ステーションと連携した24時間365日対応 ・ <u>住民に向けた在宅医療の普及啓発</u>

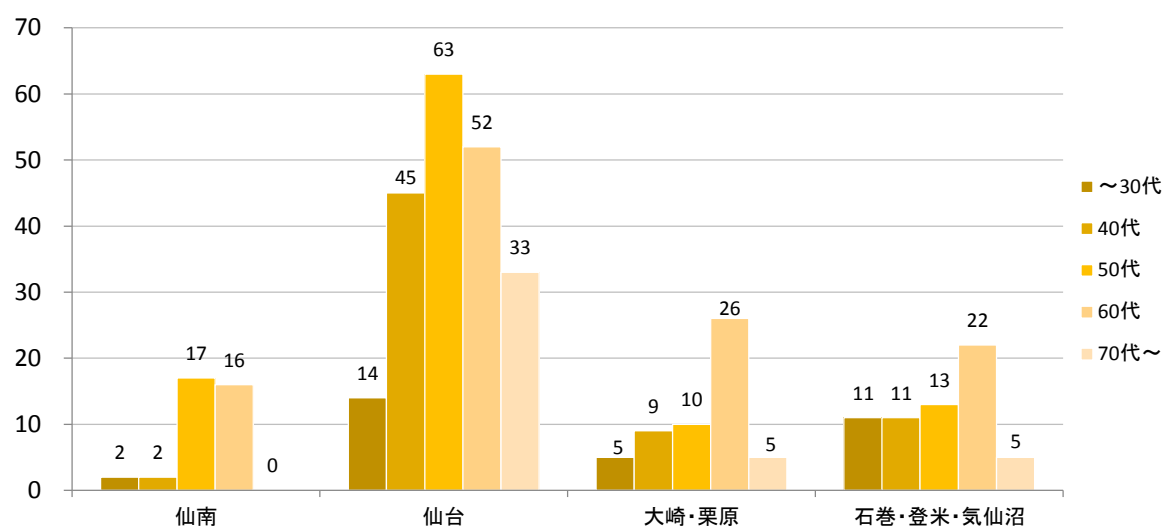
(4) 在宅医療を担当する医師の年齢（年代別）（n=252）

・60代以上の医師は159人（44.0%）

		回答のあった 医療機関数	年代別医師数（単位：人）					計 (a)	平均 医師数	医師の 平均年代
			～30代	40代	50代	60代	70代～			
二次医療圏	仙南	24	2	2	17	16	0	37	1.5	52.7
	仙台	144	14	45	63	52	33	207	1.4	52.2
	大崎・栗原	42	5	9	10	26	5	55	1.3	53.1
	石巻・登米・気仙沼	42	11	11	13	22	5	62	1.5	49.8
実施体制	在支診/病（機能強化型）	32	14	22	18	12	4	70	2.2	45.7
	在支診/病（通常型）	91	9	23	40	43	11	126	1.4	51.9
	在支診/病以外	129	9	22	45	61	28	165	1.3	54.7
計		252	32	67	103	116	43	361	1.4	52.0

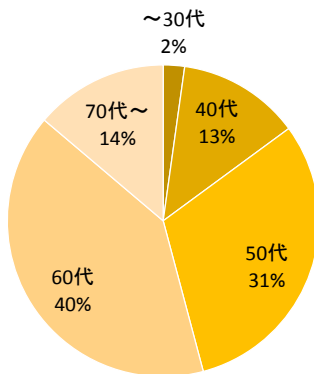
		65歳以上 人口(b) 【H28.1.1】	65歳以上 人口10万対 の医師数 (a/b*100,000)
二次医療圏	仙南	53,461	69.2
	仙台	338,679	61.1
	大崎・栗原	84,909	64.8
	石巻・登米・気仙沼	110,981	55.9

●二次医療圏別の医師数



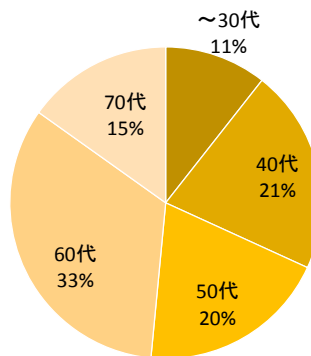
●担当医師数別の年代

担当医師 1 名 (n=181)



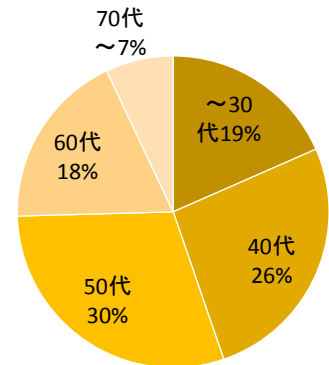
60 代以上 54.1%

担当医師 2 名 (n=33)



60 代以上 48.5%

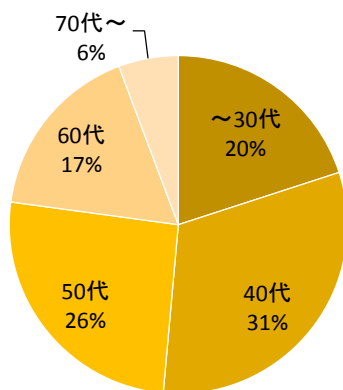
担当医師 3 名以上 (n=38)



60 代以上 25.4%

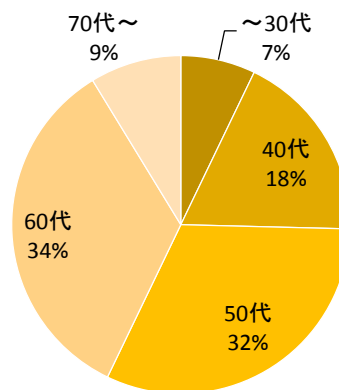
●実施体制別の担当医師年代

在支診/病（機能強化型）(n=32)



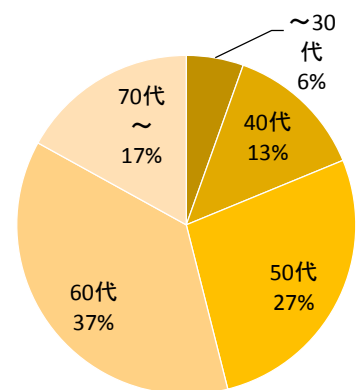
60 代以上 22.9%

在支診/病 (n=91)



60 代以上 42.9%

在支診/病以外 (n=129)



60 代以上 53.9%